

初夏を告げるさわやかな味わい おいしい「ビワ」は傾斜地育ち！

ビワ

○特 徴：

ビワ（枇杷）は、初夏をつげる果物として昔から珍重されてきました。甘くソフトな舌ざわりは日本人の好みにぴったりです。下津のびわは、傾斜地で水はけがよくて、独特の食味・食感で市場でも”おいしい下津のびわ”と評価をいただいています。現在栽培面積は50ha、品種は茂木、田中などとなっています。



○食べ方：

冷蔵庫で冷やしてから食べていただくと、さわやかな甘さを楽しんでいただけます。
(皮ごとかじるのもよし、皮を剥いて果肉部を食するのもよし)

○来 歴：

ビワが導入された歴史は古く、海南市下津町興地区に明治24年（1890年）に導入されたと言われ、現在の主な栽培地は海南市下津町仁義地区、海南市藤白地区です。品種は、初期の頃は在来系でしたが、昭和初めに品質の良い茂木、田中が導入されて以来更新が進み、現在は茂木（長崎早生を含む）80%、田中20%となっています。

○ 旬 ： 6月～7月

○産 地： 海南市

○生産量： 約160t（H23年度）

○問い合わせ先： とれたて広場（073-487-0900）

○出荷時期： 6月下旬～7月上旬

○販売単位： 400gパック